

## スイッチング円滑化タスクフォース（第1回） 議事概要

日時 令和2年11月26日（木）14:00～14:50

場所 オンライン会議による開催

出席者 （1）構成員

林 秀弥 主査、内田 真人 構成員、鳥越 真理子 構成員、  
長田 三紀 構成員、西村 暢史 構成員、横田 英明 構成員  
（以上、6名）

（2）オブザーバー

株式会社NTTドコモ 田畑 智也 経営企画部 料金企画室長  
KDDI株式会社 関田 賢太郎 相互接続部 部長  
渡邊 昭裕 相互接続部 au企画調整グループリーダー  
ソフトバンク株式会社 伊藤 健一郎 渉外本部 相互接続部 部長  
南川 英之 渉外本部 相互接続部 移動相互接続課 課長  
楽天モバイル株式会社 鴻池 庸一郎 執行役員 渉外部長  
塚本 直史 デバイスプラットフォーム部 部長  
小田 祐己 渉外部 副部長  
一般社団法人テレコムサービス協会  
佐々木 太志 MVNO委員会運営分科会 主査  
金丸 二郎 MVNO委員会運営分科会 副主査

（3）総務省

竹内総合通信基盤局長、今川電気通信事業部長、大村事業政策課長、  
川野料金サービス課長、片桐消費者行政第一課長、鈴木番号企画室長、  
大内料金サービス課企画官、中島料金サービス課課長補佐、  
仲田料金サービス課課長補佐、水井番号企画室課長補佐

## 議事概要

### 開催要綱について

- ・ 事務局より、資料 1 - 1 について説明が行われた。

### 検討課題について

- ・ 事務局より、資料 1 - 2 について説明が行われた後、質疑が行われた。

### 今後の進め方について

- ・ 事務局より、資料 1 - 3 について説明が行われた。

## 議事模様

### 開催要綱について

(事務局より資料 1 - 1 に基づき説明)

### 検討課題について

(事務局より資料 1 - 2 に基づき説明)

【林主査】 御説明ありがとうございました。

それでは、続きまして、各構成員の先生方から自己紹介を兼ねてコメントをいただければと思います。恐れ入りますが、五十音順に御発言をお願いいたしたく、内田構成員、鳥越構成員、長田構成員、西村構成員、横田構成員の順に御発言をお願いしたいと思います。

それでは、まず、内田先生からよろしく願いいたします。

【内田構成員】 早稲田大学の内田でございます。よろしく願いいたします。

今回の検討、重要な事柄がたくさん含まれているように思いますけれども、私は技術の観点からこの場に呼ばれているかと思っておりますので、特に技術的な将来性ですとか発展性、あるいは、これまでの技術的な考え方との相性や整合性に気をつけながら議論していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【林主査】 ありがとうございました。

それでは、鳥越構成員、よろしく願いいたします。

【鳥越構成員】 N R I セキュアテクノロジーズというところでセキュリティコンサルタントをしています、鳥越と申します。

最近、デジタルサービスのリスクの特定や対応などの検討に、先行的に取り組んでいます。今回もオンライン化していくということで、海外では e S I M を使っているという

ことで、SIMスワッピングというような事例が、結構幾つかサイバー攻撃で出ているので、そういうことが起きないような仕組みがきちんとつくれるのかというところで検討していけたらと思っています。よろしくお願いします。

【林主査】 ありがとうございます。

それでは、長田構成員、お願いいたします。

【長田構成員】 長田でございます。よろしくお願いします。

競争環境のワーキングからずっと、研究会ですね、競争環境に関する研究会からずっとこの問題には取り組んできておりますけれども、幾つか気になることがあるので、それも一緒に申し上げたいと思っています。

一つは、MNPのワンストップ化です。これ、重要事項の説明のところ、できるかどうかという課題が上がっていますが、そもそもそのように難しく複雑な説明しなければいけないようなサービスのほうを変えていただくというのが、もともとの研究会でも皆の大きな願いだと思えます。そこも含めて、解約してほかへ移るときに、とても難しい説明が必要で、かつその後何かリスクが起こることがあるということがないサービス設計を、ぜひとも考えていっていただきたいと思っています。

もう一つは、研究会の中では全く出てこなかったのが今回取り上げられているのが、キャリアメールの持ち運びです。そこは、もう課題の整理の中にも書いてありますけれども、そもそもコストが非常にかかるだろうということとずっと見送っているうちに、世の中がキャリアメール以外のものを使う人が増えてきている中で、これを実現した場合のコストを誰が負担するのかは、すごく大きな課題だと思っています。そういう視点から参加させていただきたいと思っています。よろしくお願いします。

【林主査】 ありがとうございます。

それでは、西村構成員、よろしくお願いします。

【西村構成員】 中央大学の西村でございます。

専門としましては、市場もしくは競争といったものと法律との関係を中心に研究をさせていただいています。

今回のタスクフォースのテーマとして消費者のキャリア乗換えの円滑化と理解した場合、まずは様々な制度、環境整備を整えようとしているものと理解しております。ただ環境整備だけで、例えば乗換えが達成できるかは、まだ断言できるものではないかと思っております。環境整備を支える諸事実を丁寧に確認し、利用者が実際に乗り換えるという動機

や要因も同時に問われるのではないかと考えております。

ともかくも、様々な整備の導入がスムーズに行われるように、また乗換えが推進されるためには、事業者間の公正な競争、それから消費者保護ルールは、検討をしなければいけないものと考えておりますし、その旨申し上げていきたいと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。

【林主査】 ありがとうございます。

それでは、横田構成員、お願いいたします。

【横田構成員】 初めまして。MM総研の横田と申します。よろしくお願いいたします。

我々は、データに基づいた市場分析をなりわいとしておりまして、今回の件でも、いろいろルールを決めていく、もしくは判断をしていく中で、過去のバックデータですとかそういうものが必要になるかと。そういったところで、我々、役に立てればと思っております。

今回、ユーザーさんのキャリアを乗り換える際の円滑化が目的のタスクフォースだと思っていて、今回出ている4つの論点を見ますと、海外のキャリアと比べてみると、少し日本だけまだ残っているルールが散見されるかと思っております。こういったものもグローバルスタンダードに近づけつつ、消費者にとって最適なサービスを自由に選択できる、そういった環境を整えられることに御協力させていただけたらと思います。

よろしく願いいたします。

【林主査】 ありがとうございます。

それでは、一通り構成員の先生方から自己紹介を兼ねましてコメントをいただいたところでございます。私も御挨拶を兼ねて一言申し上げたいと思います。

名古屋大学の林と申しまして、これまで電気通信市場における競争政策について研究してまいりました。

競争法の考え方に、能率競争という考え方がございます。英語で申しますとcompetition on the merits ということで、提供する商品役務の価格や品質を本意とした競争を実現していくべきだということございまして、まさに公正競争の重要な構成要素とされてございます。本タスクフォースは、モバイル市場における能率競争、公正競争の在り方を討議する重要な会議だと思っております。ユーザーや社会の関心も高い事項が扱われるのではないかと思います。

その上で2点申し上げたいのは、1点目は、先ほど長田構成員もおっしゃった、消費者

への普及、啓発のための課題でございます。例えば、eSIMに関して、活用のためにスマートフォンとかインターネットに関して一定の知識であるとかスキルが求められると思いますし、先ほど御説明を聞いたところでは、オンラインで手続を始めるにはQRコードを撮影してeSIMをダウンロードしたりといった操作が必要ですので、これは高齢者などスマートフォンに慣れていない消費者が行うには、ややハードルが高いかという気がいたします。eSIMも含めまして、この点の改善が必要ではないかと思っておりますし、また、顧客の利便性の向上には、顧客への分かりやすく適切な情報提供がセットで重要ですので、この点も検討課題かと思っております。

2点目は、これも先ほど事務局の御説明にあった、事業者間ごとに対応にばらつきがあるということでございます。SIMロックの解除もそうだとということでございますけれども、これも競争法の考え方ですが、競争制限的でない、ほかに代わり得る手段が存在するにもかかわらず、より競争阻害的だと考えられる手段がとられているとすれば、かつ当該手段が購入者にとって何ら利益がないとすれば、それは不合理ではないかと思っております。SIMロックにしてもMNPにしても、全事業者が共通の理解の下に、統一した対応が求められるのではないかと思っております。

先生方から一通りコメントをいただいたところでございますけれども、まだ5分ほどお時間がございますので、追加で、冒頭の事務局の御説明であるとか、あるいは各構成員の先生方のコメントを踏まえた御質問あるいは御意見、その他何でも何か御発言ございましたら、お願いできればと思います。いかがでしょうか。

よろしゅうございますか。

私の手元には、特に発言を希望の先生はおられないようでございます。事務局で何かございますか。よろしいでしょうか。

【大内料金サービス課企画官】 特段御質問なければ、大丈夫です。

【林主査】 ありがとうございます。

それでは、今日は初回でございますし、今後の検討課題を御説明いただくのがメインでございますので、もし何か後ほどお気づきの点等ございましたら、事務局にメール等でお知らせいただくということございまして、少し早いようでございますけれども、質疑応答はこれで終わりにしたいと思います。

続きまして、今後の進め方につきまして、事務局より御説明をお願いいたします。

今後の進め方について

(事務局より資料1 - 3に基づき説明)

【林主査】 ありがとうございます。

年度末にかけて集中的に討議されるということでございまして、先生方には御多用中のところお時間頂戴するかと思いますけれども、よろしく御予定のほどお願いいたします。

本日の議題は以上となりますけれども、最後に、次回会合につきまして、これも事務局より御説明をお願いいたします。

【中島料金サービス課課長補佐】 事務局でございます。

本日は御議論いただきまして、どうもありがとうございました。次回会合の詳細につきましては、別途事務局より御連絡を差し上げると共に、総務省のホームページに開催案内を掲載いたします。以上よろしくお願いいたします。

【林主査】 ありがとうございます。

それでは、先生方、よろしゅうございませうか。

本日の議題は終了いたしましたので、本日の会合はこれにて閉会したいと思います。本日は、どうもありがとうございました。